

本日、林市長が、 小泉 環境大臣、西村 経済財政政策担当大臣、 宗清 経済産業大臣政務官へ提案・要望を行いました

本日（6月28日）、林市長が、次のとおり国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
11時00分 ～11時15分	環境省 小泉 進次郎 環境大臣	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組への支援
11時45分 ～11時55分	内閣府 西村 康稔 経済財政政策担当大臣	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス等感染症対策における指定都市の機能強化
14時20分 ～14時30分	経済産業省 宗清 皇一 経済産業大臣政務官	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組への支援

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



(小泉 環境大臣)



(西村 経済財政政策担当大臣)



(宗清 経済産業大臣政務官)

3 林 文子 市長コメント

このたび、来年度の政府予算編成に向けて、「新型コロナウイルス等感染症対策における指定都市の機能強化」や「持続可能な脱炭素社会の実現に向けた取組」など、横浜市が直面する課題解決や横浜市の持続的な成長につながる政策、国の積極的な財政支援が必要な政策について、関係府省に提案・要望を行い、しっかりと受け止めていただきました。

小泉 環境大臣には、「今後も国として地方としっかり連携を取りながら、再生可能エネルギーの導入拡大を後押ししていきたい。」とのコメントをいただきました。

西村 経済財政政策担当大臣には、「感染拡大を抑えるため、大都市部、指定都市の役割は大きいと考えている。本日の要望も今後の参考にしていく。」とのコメントをいただきました。

宗清 経済産業大臣政務官には、「エネルギーを取り巻く環境は厳しく、今後、自治体の果たす役割は大きくなっていくと思う。脱炭素社会の実現に向け、国、自治体、産業界が一緒になって取り組んでいかなければならない。」とのコメントをいただきました。

横浜市は、このたびの政策提案・要望の実現を通じて、国や県、医療機関の皆様や自治体間でより一層、緊密に連携して、市民の皆様の命と暮らしをお守りし、地域・圏域の持続的な成長を実現できるよう、力を尽くしていきます。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2021teian.html>

お問合せ先

政策局大都市制度推進本部室広域行政課担当課長 長久 伸子 Tel 045-671-2109